



# 花園



## 「寒い」けど「温かい」

教頭 金井 建 憲

普通は「寒い」に対しては「暖かい」を使いますが、なぜ「温かい」を表題に使ったのか。今月、思わず「心がほっこりする」私の体験をまずは紹介します。

11月に入り初雪が降り、先週は学校周辺にも踝くらいまで積もりました。いつもよりも少し早めに出勤し、登校する児童や出入りする車のために、雪かきをしたり、砂をまいたりしていました。すると、一番初めに登校してきた児童が「おはようございます。何をしていますか。」と聞いてきたので、「みんなが滑らないように雪をよけているんだよ。」と答えると「そうなんです。ありがとうございます。」と返してくれました。

また、来年度の新1年生と保護者が来る日、「花園小学校ってきれいだな。早く入学したいな。」と思ってもらえるように階段のホコリを掃除機できれいにしていると、二人の児童が足を止めて「きれいにしてくれて、ありがとうございます。」と声をかけてくれました。

「みんなのため」を思っている人に対し、「ありがとうございます」と自分事として感謝の気持ちを伝えられる花園の子に心がほっこりしました。今思えば、11月23日が『勤労感謝の日』だったので、意識して生活していたのかもしれない。

私も子どもたちに「ありがとう」を伝えて、『同じように温かい気持ちにしてあげたい』と思っていた時、ちょうど6年生が就学時健診で使用する机や丸椅子の準備や片づけを進んで手伝ってくれる場面がありました。「みんなが手伝ってくれて、すごく助かったよ。ありがとう。」と声をかけると、「大丈夫です。」とはにかんだ様子で答えてくれました。

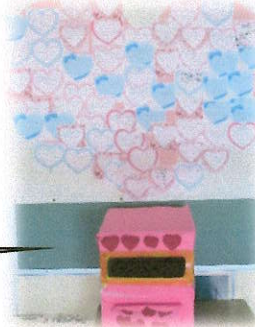
「ありがとう」と相手に感謝の気持ちを伝えられると心が温くなることを実感するとともに、その大切さを改めて再認識できました。「寒い」けど「心が温かい」出来事でした。

挨拶と同様、感謝の気持ちを相手に伝えることは、簡単かつ効果的なコミュニケーションの方法と言えます。「自分が嬉しい気持ちになった時に、相手にも同じ気持ちになってほしい。」この好循環が続くと自然と人にやさしくできる子に成長するのではないのでしょうか。子どもたちのウェルビーイングの実現は、もしかしたらこのような一言から始まるのかもしれない。

ご家庭でも、「～しなさい」ではなく「～してくれて、ありがとう」という表現でお子さんに話してみてもはどうでしょう。

きっと、みんな笑顔になると思います。

児童会の「心あったか運動」の取組  
たくさんの「ありがとう」メッセージ  
で大きなハートができました。



## いじめ防止キャンペーン

小樽市では、毎年11月～12月を「いじめ防止強調期間」として、関係機関等と連携しながら、いじめ防止に向けた取組を行っています。

本校でも、いじめの早期発見・未然防止の取組として「いじめアンケート」を実施するとともに、アンケートに基づく教育相談、花園小学校児童会と菁園中学校生徒会による「いじめ防止サミット」の開催等を予定しています。

ご家庭においても、お子さんの様子を観察し、お気づきの点があれば学校や市の教育相談窓口にお知らせください。特にSNS上のいじめは、気づいたときには既に深刻な事態になってしまうケースもあります。お子さんにスマートフォン等を持たせている場合は、保護者の管理の下、正しく使用するようにご指導ください。



## いかのおすし

今週、市内で登下校中や公園で遊んでいる児童や生徒に「あめをあげる」や「お家どこ」、「一緒に行つてあげる」等、声掛け事案が不審者情報として連絡がありました。

校区周辺での事案が発生した際には、校内放送や帰りの会で本校児童に注意喚起と万が一の対応について指導しました。事故や事件にあわないように「自分の身は自分で守る」約束は、いくつかあります。横断歩道を渡る時には「とまって みぎ ひだり」や火事では「おはしも」、そして不審者は「いかのおすし」です。

大きな事故や事件に巻き込まれないためにも、「いか（行かない）の（乗らない）お（大声を出す）す（すぐ逃げる）し（知らせる）」をご家庭でもお話してください。万が一、不審者と遭遇した際には、まずは警察に連絡をし、その後、学校にもお知らせください。

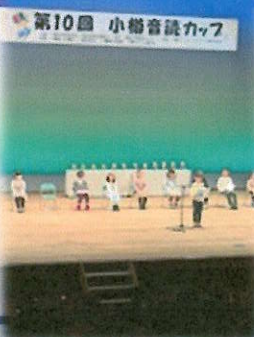
\*「いかににぎり」というものもあります。何についての合言葉でしょうか  
(ヒント1 大人に関係 ヒント2 年末年始は特に要注意)



## 第10回小樽音読カッ7

11月9日、校内予選（8名参加）を勝ち抜いた児童が代表として出場しました。低学年の部において、1年1組〇〇〇〇さんが奨励賞、3年1組〇〇〇〇さんが銀賞を獲得しました。おめでとうございます。参加した児童・生徒全員、日頃の音読の成果を発揮し、とても上手に読むことができていました。

ぜひ、「家庭学習は音読から」を合言葉に、ご家庭でもお子さんと一緒に取り組んでみてください。



## 手話を授業で体験

11月19日、5年生を対象に手話の活動を行いました。耳が聞こえない人の立場に立って、自分ができることをしっかりと考えることができました。講話や体験を通して、学んだことをこれからの生活に生かしてほしいです。

